

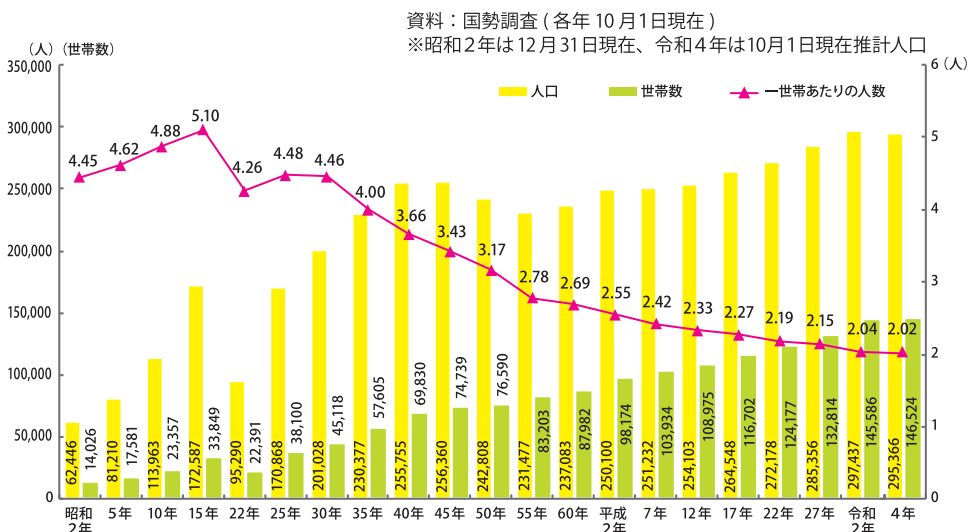


## 1 人口の動向

### ● 人口及び世帯数の推移

戦後、増え続けていた人口は昭和43年7月の260,777人をピークに一時減少し、昭和56年4月に229,945人と落ち込みましたが、その後は増加が続き、令和2年には人口・世帯数共に過去最高を更新しました。

令和4年10月1日現在、鶴見区の人口は295,366人、世帯数は146,524世帯となっています。



### ● 人口増減・社会増減・自然増減の推移

鶴見区の人口は、増減を繰り返しながら推移しています。昭和40年代後半に、転出者数が転入者数を上回ったこと（社会減）により、人口が大きく減少しました。昭和50年代後半から社会増に転じたことによって、人口が増加したものの、バブル期を経て平成4年より再び社会減・人口減の傾向が続きました。その後、平成12年からは社会増・人口増に転じていましたが、令和3年に再び社会減・人口減に転じています。また、平成30年から死亡者数が出生者数を上回り、自然減に転じています。

資料：横浜市統計書及び横浜の人口 人口動態と年齢別人口

